

Fibre Channel コントローラファームウェア適用手順(Linux)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、Fibre Channel コントローラ ファームウェアの適用に関して記載しています。

【 対象OS 】

- Red Hat Enterprise Linux 7.3
- Red Hat Enterprise Linux 7.4
- Red Hat Enterprise Linux 7.5
- Red Hat Enterprise Linux 7.6
- Red Hat Enterprise Linux 7.7

【 対象機種と対象バージョン 】

下記機種で対象となるファームウェアバージョンの場合、本書に従い適用してください。

・対象となる機種

- N8190-165 Fibre Channelコントローラ(1ch)
- N8190-166 Fibre Channelコントローラ(2ch)
- N8190-167 Fibre Channelコントローラ(1ch)
- N8190-168 Fibre Channelコントローラ(2ch)

・対象となるバージョン

- 01.70.47
- 01.70.51
- 01.70.66
- 01.70.85
- 01.71.03
- 01.72.02
- 01.73.07

・適用後のバージョン

- 01.71.47 (適用前 01.70.47)
- 01.71.51 (適用前 01.70.51)
- 01.71.66 (適用前 01.70.66)
- 01.71.85 (適用前 01.70.85)
- 01.72.03 (適用前 01.71.03/01.72.02)
- 01.73.08 (適用前 01.73.07)

【ファームウェアバージョン確認方法】

下記のいずれかの方法でファームウェアバージョンを確認することができます。

< システムユーティリティ(System Utilities)での確認方法>

[システムユーティリティ(System Utilities)での確認方法]

- (1) POSTでF9を押してシステムユーティリティ(System Utilities)を起動します。
- (2) システム構成(System Configuration)を選択します。
- (3) 対象のFibre Channelコントローラを選択します。

N型番と「製品名」の対応は以下の通りです。

N8190-165 : SN1100Q 1P
N8190-166 : SN1100Q 2P
N8190-167 : SN1600Q 1P
N8190-168 : SN1600Q 2P

- (4) コントローラ情報(Controller Information)を選択します。
- (5) ファームウェアバージョン(Firmware version)を確認します。

[iLOでの確認方法]

- (1) マネージメントLAN 経由で接続し、iLO メニューを表示させ、「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択してください。
- (2) 「製品名」「ファームウェアバージョン」が表示されます。

対象となる製品の製品名とファームウェアバージョンを 確認してください。
N型番と「製品名」の対応は以下の通りです。

N8190-165 : SN1100Q 1P
N8190-166 : SN1100Q 2P
N8190-167 : SN1600Q 1P
N8190-168 : SN1600Q 2P



ファームウェアバージョン(Firmware version)が**01.70.47、01.70.51、01.70.66、01.70.85、01.71.03、01.72.02、01.73.07**いずれかの場合は、対応するアップデートモジュールのファームウェアを適用してください。

【 ファームウェアの適用手順 】

現在適用されているファームウェアのバージョンによって適用するファームウェアモジュールが異なります。下表を参照して適切なモジュールを使用してファームウェアをアップデートしてください。

現在のファームウェアバージョン	ファームウェアモジュール名
01.70.47	firmware-fc-qlogic-2017.06.02-1.1.x86_64.rpm
01.70.51	firmware-fc-qlogic-2017.09.02-1.1.x86_64.rpm
01.70.66	firmware-fc-qlogic-2018.02.02-1.1.x86_64.rpm
01.70.85	firmware-fc-qlogic-2018.06.02-1.1.x86_64.rpm
01.71.03	firmware-fc-qlogic-2019.03.04-1.2.x86_64.rpm
01.72.02	
01.73.07	firmware-fc-qlogic-2019.12.02-1.3.x86_64.rpm

- (1) rootでログインし、任意のディレクトリにファームウェアモジュールをコピーします。
- (2) (1)でモジュールをコピーしたディレクトリに移動します。
- (3) ファームウェアモジュールをインストールします。

```
# rpm -ivh ファームウェアモジュール名
```

ファームウェアモジュールがインストールされたディレクトリに移動します。

```
# cd /user/lib/x86_64-linux-gnu/ディレクトリ名
```

ディレクトリ名は下表を参照してください。

ファームウェアモジュール名	ディレクトリ名
firmware-fc-qlogic-2017.06.02-1.1.x86_64.rpm	firmware-fc-qlogic-2017.06.02-1.1
firmware-fc-qlogic-2017.09.02-1.1.x86_64.rpm	firmware-fc-qlogic-2017.09.02-1.1
firmware-fc-qlogic-2018.02.02-1.1.x86_64.rpm	firmware-fc-qlogic-2018.02.02-1.1
firmware-fc-qlogic-2018.06.02-1.1.x86_64.rpm	firmware-fc-qlogic-2018.06.02-1.1
firmware-fc-qlogic-2019.03.04-1.2.x86_64.rpm	firmware-fc-qlogic-2019.03.04-1.2
firmware-fc-qlogic-2019.12.02-1.3.x86_64.rpm	firmware-fc-qlogic-2019.12.02-1.3

- (4) 下記のコマンドでファームウェアを適用します。

```
# ./setup -f -s
```

- (5) 1分ほど待ち、何も表示せずプロンプトに戻りましたら正常に終了です。
- (6) インストールしたファームウェアモジュールをアンインストールします。

```
# rpm -e firmware-fc-qlogic
```

- (7) システムを再起動します。

注) 複数の対象となる型番のFibre Channelコントローラをご使用の場合、上記手順を実行することで全ての対象となる型番のFibre Channelコントローラに対してファームウェアが適用されます。

(8) 【ファームウェアバージョン確認方法】を参照して、ファームウェアバージョン(Firmware version)が下記の何れかとなっていることを確認してください。

- ・01.71.47 (適用前 01.70.47)
- ・01.71.51 (適用前 01.70.51)
- ・01.71.66 (適用前 01.70.66)
- ・01.71.85 (適用前 01.70.85)
- ・01.72.03 (適用前 01.71.03/01.72.02)
- ・01.73.08 (適用前 01.73.07)

以上で、ファームウェアの適用は完了です。

■ 本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がある場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

連絡先	: ファーストコンタクトセンター
T E L	: 0120-5800-72
受付時間	: 9:00～12:00 13:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日、弊社休日を除く)
※ 番号をお間違えにならないよう、よくお確かめの上、おかけください。	